



鮮やかに紅葉するドウダンツツジ（歯科医療センター前）

看護師の特定行為研修について

高度看護研修センター副センター長 **三浦 幸枝**
(看護部長)



平成27年10月1日より特定行為に関する看護師の研修制度が始まることを受けて、高度看護研修センターに厚生労働省の指定研修機関として特定行為教育課程（創傷管理関連）を開講する運びとなりました。この新たな研修制度についてご紹介いたします。

1 特定行為に係る看護師の研修制度と目的

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、今後の医療を支えるために保健師助産師看護師法の一部改正によって、平成27年10月1日から、手順書により特定行為を行う看護師に対し、「特定行為研修」の受講が義務づけられました。

新たな研修制度は、看護師が手順書により行う特

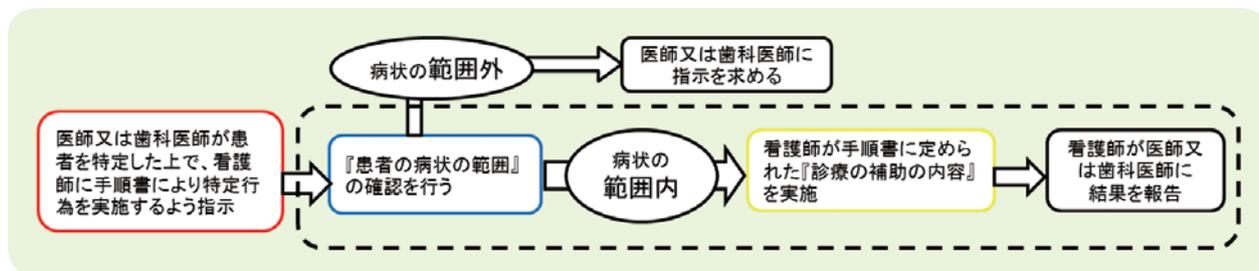
定行為を標準化することで、今後の急性期医療から在宅医療等を支えていく看護師を計画的に養成することを目的としています。

本学附属病院高度看護研修センターは、東北で唯一保健師助産師看護師法に基づく特定行為研修の指定研修機関（特定行為1区分）に認可されました。

2 看護師の特定行為とは

特定行為とは、診療の補助であって、看護師が手順書により行なう場合には実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされるものとされています。（保健師助産師看護師法第37条の2）

また、手順書とは、医師又は歯科医師が看護師に診療の補助を行わせるためにその指示として作成する文章であって、「看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲」「診療の補助の内容」等が定められているものです。（保健師助産師看護師法第37条の2）



3 特定行為研修の基本理念

特定行為研修は、チーム医療のキーパーソンである看護師が、患者・国民や医師・歯科医師その他の医療スタッフから期待される役割を十分に担うため、医療安全に配慮し、在宅を含む医療現場において、

高度な臨床実践能力発揮できるように、自己研鑽を継続する基盤を構築するものでなければならぬものとしています。

4 特定行為研修の要綱

研修は、看護師が手順書により特定行為を行う場合に特に必要とされる実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能の向上を図るための研修であって、特定行為（38行為）区分（21区分）ごとに特定行為研修の基準に適合するものとされ、38行為は病態確認の内容の類似性や行

為が実施される医療現場のニーズなどを考慮し、21の「特定行為区分」に分類されています。

特定行為研修の教育内容は、すべての特定行為区分に共通する「共通科目」と、特定行為区分ごとに異なる「区分別科目」から構成されており、それぞれ講義と、演習または実習により履修します。

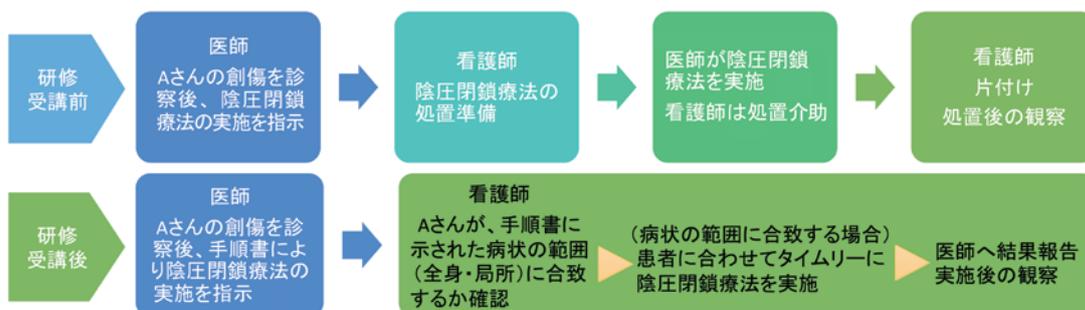
5 本学の概要

平成24年度からの厚生労働省試行事業の実績から、行為区分を創傷管理関連（褥瘡（床ずれ）又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去、創傷に対する陰圧閉鎖療法）とする。

- 特定行為区分の名称 … 創傷管理関連
- 研修の実施期間 …… 平成27年10月1日から平成28年1月31日まで
- 平成27年度受入れ人数 … 3名

特定行為実施の流れ ～創傷管理関連：創傷への^{*}陰圧閉鎖療法の場合～

※ 陰圧閉鎖療法とは、専用の材料を用いて創部に陰圧をかけることで、創縁を引き寄せ、過剰な滲出液および感染性老廃物を取り除き、肉芽組織の形成を促進することで、創傷治癒を促す物理療法。



6 今後の展望

本制度の意義は、特定行為のみを行なうことではなく、看護の関わりの中で特定行為も含めた医療を提供することであり、CureとCareを統合した看護師が医療チームの一員として複雑化する医療ニーズに対応し患者の健康回復に貢献できることが期待されることにあります。

さらに、看護の専門性を発揮し、手順書を用いて

医師の指示を待たずに病態を判断して、特定行為を含む医療を提供することで、これまで以上に医療・看護をより良い方向に導いていくと考えられます。

様々な場で、看護の専門性をさらに発揮した活動が可能となるため実施状況や課題を明らかにし、安全性を向上させる取り組みを積極的に行ってまいります。

～ 開 講 式 ～

10月21日（水）、創立60周年記念館10階会議室において、開講式が行われました。

式では、小川理事長より「皆さんは日本で初めての特定行為認定看護師となる。全国のモデルとなるよう励んでほしい」と挨拶があり、続いて、寺山センター長より「一日も早く幅広い知識を持った特定看護師として、各自の臨床現場において、チームの重要な一員として活躍していただきたい。」と式辞がありました。

研修生を代表して小野寺直子さんより「安全かつ効果的なケアを患者さんへ提供できる、高度かつ専門的な知識及び技術習得を目指します」と誓いの言葉が述べられました。



アイバンク街頭PR活動が行われました

10月3日(土)、イオン盛岡南ショッピングセンターにおいて、アイバンク街頭PR活動が行われました。

当日は、PRポスターやパネル展示のスペースが設けられ、本学教職員並びに関係団体の方々約30名が2,000枚のパンフレット等を配布し、アイバンクへの登録を呼びかけました。

アイバンクの機能を十分に発揮するためには、多くの角膜提供登録が必要であり、本学においても多数の方々方が角膜移植を待ち望んでいます。登録をご希望の方は、病院事務部医務課内のアイバンク事務局(内線3122)までお問い合わせください。



医療専門学校歯科衛生学科の戴帽式が行われました

10月3日(土)、医療専門学校4階講堂(上ノ橋校舎)において、平成27年度の歯科衛生学科戴帽式が行われました。戴帽式は、これから同学科の1年生が臨床実習を行うにあたり、医療人としての心構えや責任感を自覚し決意を新たにするものです。

式では、戴帽生32名の呼名に続き、教務主任から一人ひとりにキャップがのせられた後、誓いのことばが唱和されました。厳かな空気の中、戴帽生を代表して芳賀 光さんが謝辞を述べ、新たな決意を胸に歯科衛生士への第一歩を踏み出すことを誓いました。



表彰の 荣誉

泌尿器科学講座 五十嵐 大樹 専門研修医が第252回日本泌尿器科学会東北地方会で優秀演題賞を受賞しました

この度、第252回日本泌尿器科学会東北地方会(平成27年10月18日:仙台市)におきまして、演題「エベロリムスが奏効し安全に摘除し得た下大静脈腫瘍栓を伴う腎血管筋脂肪腫症例」を発表し、優秀演題賞を受賞しました。

結節性硬化症に合併する腎血管筋脂肪腫(AML)に対するエベロリムスの効果は証明されておりますが、もともと報告例の少ない腫瘍栓を伴うAMLに対して、mTOR阻害剤であるエベロリムスを投与し腫瘍栓の縮小効果を認め手術を行ったのは、我々が調べ得た限りでは世界で初めての経験でした。本症例に関して我々は、腫瘍本体と腫瘍栓へのエベロリムスの効果の差に関して病理学的・分子生物学的に考察しました。病理標本の見直しやエベロリムスの作用機序に基づき免疫染色を追加して検討しましたが、結果的に真相にたどり着くことはできませんでした。しかし、疑問点に対して自分たちの仮説を立て、検証していくという過程を評価頂いたものと考えております。疑問点や反省点を、次の診療に活かしていくことが大切であると再認識致しました。

今回の発表に際して、小原航教授をはじめとする当講座の医局員の先生方、病理診断学講座の菅井有教授、石田和之准教授、無江良晴先生に御指導を賜りました。さらに、御協力頂きました検査技師様やスタッフ様に深く御礼申し上げます。
(文責:五十嵐 大樹)



新任教授の紹介

外科学講座

佐々木 章 (ささき あきら)

昭和 37 年 6 月 10 日
岩手県花巻市生まれ



研究テーマ

- ・低侵襲外科治療の開発と評価
- ・高度肥満症に対する外科治療
- ・肥満糖尿病の病態解明と外科治療

主な著書論文

- ・単一施設における完全腹腔鏡下肝切除術の 10 年間の経験 (Br J Surg 2009; 96: 274-279)
- ・胃間葉系腫瘍に対するテラード腹腔鏡下切除術 (Surgery 2010; 147: 516-520)
- ・日本における肥満外科手術の現状と肥満症・糖尿病への効果 (J Gastroenterol 2014; 49: 57-63)

趣味

山歩き

教職員への自己PR

昭和 63 年から 27 年間にわたり外科学講座の教育、研究、診療に従事してきました。診療と研究テーマは、安全な内視鏡外科手術の導入と実践、低侵襲な新外科治療法の開発、高度肥満症・2 型糖尿病に対する外科治療、臨床課題に基づいた研究です。本学のさらなる発展のために、診療能力の向上と研究の推進を目指して、後進の育成に誠心誠意努力いたしました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

経歴

昭和 63 年 金沢医科大学医学部 卒業
岩手医科大学外科学第一講座 入局
平成 7 年 同 助手
平成 13 年 同 講師
平成 18 年 岩手医科大学外科学講座 講師 (統合により講座名変更)
平成 19 年 同 嘱託准教授
平成 22 年 同 准教授
平成 27 年 8 月 現職

口腔医学講座予防歯科学分野

岸 光男 (きし みつお)

昭和 35 年 12 月 16 日
東京都練馬区生まれ



研究テーマ

- ・舌背上の微生物と歯科疾患の関連
- ・被災地における口腔保健に関する疫学研究

主な著書論文

- ・東日本大震災大津波被災住民の口腔関連 QOL とその関連要因 (Health Qual Life Outcomes 2015; 13: 147)
- ・口臭測定による歯周病健全者の歯垢中歯周病原性細菌定着状況の予測 (Arch Oral Biol 2013; 58: 324-30)
- ・高齢者の舌背上の歯周病原性細菌の分布と口腔内状況との関連 (J Med Microbiol 2010; 59: 1354-9)

趣味

演劇鑑賞

教職員への自己PR

平成 9 年に東京から盛岡に助手として赴任して以来 18 年余り、四季折々の岩手の自然の素晴らしさに慣れ親しんできました。今では東京に行けば、人の多さに一刻も早く盛岡に戻りたくります。東日本大震災を機に沿岸の口腔保健の調査を始めて 5 年目になります。現地に行けば復興は遙かに遠いこと、そして健康とは地域社会というシステムの上で人々が創造していくものだという事を実感します。今後も調査研究という形で被災地を支援していきたいと思っております。

経歴

昭和 62 年 東京医科歯科大学歯学部 卒業
平成 3 年 東京医科歯科大学大学院歯学研究科 修了
平成 3 年 岸 歯科医院 副院長
平成 9 年 岩手医科大学歯学部予防歯科学講座 助手
平成 10 年 岩手医科大学歯学部予防歯科学講座 講師
平成 19 年 岩手医科大学歯学部予防歯科学講座 嘱託准教授
平成 27 年 8 月 現職

教養教育センター外国語学科英語分野

James Hobbs (ジェイムズ ホブズ)

昭和 44 年 1 月 3 日
英国リーズ市生まれ



研究テーマ

- ・Task-based learning (タスク中心型学習)
- ・医学英語教育法

主な著書論文

- ・“Interactive lexical phrases in pair interview tasks.” In C. Edwards & J. Willis (Eds.), Teachers exploring tasks in English language teaching. Basingstoke, UK: Palgrave MacMillan. (2005)
- ・“Task structure and patterns of interaction: What can we learn from observing native speakers performing tasks?” In A. Shehadeh & C. Coombe (Eds.), Task-based language teaching in foreign-language contexts (pp. 109-133). Amsterdam: John Benjamins Publishing Company. (2012)
- ・Skills Lab English: An English-only approach to medical education. Journal of Medical English Education, 13(1), 24-29. (2014)

趣味

自転車レースへの参戦

教職員への自己PR

平成 3 年にイギリスから来日し、県立岩泉高等学校の英語指導助手として教育者の道に踏み出しました。そこから高校、英会話学校、大学及び専門学校でと経験を重ね、研究者としても活動を開始し、平成 14 年に旧教養部の英語科外国人講師に就任いたしました。医療人に必要とされる英語を中心とする参加型の講義を通じて、学生に知識を与えるだけではなく、英語をはっきりとした目的に使える学生の養成を目指します。これからも研究及び学会活動を通じてより良い医学英語教育法を目指し、外国語学科の発展のために努力してまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

経歴

平成 3 年 ケント大学 (イギリス) 経済学部卒業、来日
岩手県立岩泉高等学校英語指導助手
平成 6 年 盛岡イングリッシュアカデミー講師
平成 9 年 岩手大学非常勤講師、盛岡大学非常勤講師
平成 14 年 岩手医科大学教養部英語科外国人講師
平成 15 年 アストン大学 (イギリス) 言語学部修士課程修了
平成 17 年 岩手医科大学教養部英語科講師
平成 21 年 同 共通教育センター外国語学科英語分野准教授
平成 27 年 10 月 現職

シリーズ 職場めぐり

内科学講座血液腫瘍内科分野

血液腫瘍内科は、急性白血病を始めとする造血器腫瘍、造血不全、免疫疾患、HIV感染症などの診療を行っています。上記の患者さんに対して化学療法、免疫抑制療法、自家もしくは同種造血幹細胞移植、その他の治療が施行されます。当科の化学療法や造血幹細胞移植の特徴としては、血液毒性や非血液毒性がいずれも強く、併発する感染症の治療や全身管理が極めて重要になります。また同種移植においては移植片対宿主病（GVHD）等の特殊な合併症管理も必要になります。

血液疾患はこれらの様々な合併症により時には重症度も高く、各症例を多方面から総合的にサポートする必要があります。上記を背景に日々の診療内容に関しては、チーム医療がより必須な領域と言えます。当科の同種移植の症例に関しては、実際に10年前から多職種スタッフによる週1回の合同カンファレンスが行われています。このカンファレンスでは血液腫瘍内科医師と看護師だけでなく精神科医、歯科医、薬剤師、理学療法士、栄養士により多方面から症例を活発にdiscussionしており、お互い連携を取りながら日々の診療内容を充実させています。

診療科として日々とても忙しい科の一つですが、generalかつexpertである内科医を目標に、今後も臨床と研究と教育に日々取り組んでいきます。

（講師 小宅 達郎）



口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野

口腔外科学分野は、平成24年4月に顎口腔外科学講座（旧口腔外科学第一講座）と歯科口腔外科学講座（旧口腔外科学第二講座）が統合されて新たにスタートいたしました。医局員は水城春美 教授、杉山芳樹 教授をはじめとして、総勢35名です。

口腔外科では口腔や顎骨、顎関節、唾液腺、所属リンパ節などに生じた疾患を診療の対象にしております。具体的には口内炎などの口腔粘膜疾患、顎骨や顎骨周囲の炎症、良性・悪性腫瘍、嚢胞、外傷、顎変形症、口唇・口蓋裂および顎関節症などの外来、入院診療を行っています。

歯科医師国家試験では口腔外科に関する問題が多く出題されますので、講義や実習では試験対策や臨床に即した口腔外科学の教育に力を注いでいます。

近年、高齢者人口の増加に伴って、種々の全身疾患を有し、多くの薬剤を服用している患者さんも増えて来ました。今後、ますます、多種多様なニーズが生

じて来るとは思いますが、それらに対応できる様に日々研鑽を積んでおります。

（講師 青村 知幸）



理事会報告（9月定例－9月28日開催）

1. 教員の人事について

睡眠医療学科 准教授 西島 嗣生（前 同学科 講師）
（発令年月日 平成27年10月1日付）

2. 平成28年度事業計画書方針について

3. 平成28年度予算編成方針について

4. 岩手県医師養成事業奨学金制度利用者（地域枠入学）の学費納入取扱規程の一部改正について

岩手県から奨学生への実際の貸与日との整合、及び

学則条文との整合を図るため、岩手県医師養成事業奨学金制度利用者（地域枠入学）の学費納入取扱規程の一部改正について承認

（施行年月日 平成28年4月1日）

5. 岩手看護短期大学学納金減免規程の制定について

本法人の専任職員の子弟が同短期大学に入学した場合の学納金に係る減免規程の制定について承認

（施行年月日 平成28年4月1日）

編集委員コーナーNo.3

「大学周辺のお店めぐり ～ PIONEER FARM ～」

大学周辺のお店めぐり『ちきゅうや』に続き、お店紹介をしたいと思います。

本町のトーカンマンション1階に昨年オープンした『PIONEER FARM (パイオニアファーム)』というステーキハウスのお店です。店内は、ジャズの流れる洒落た雰囲気的空間で、個室も完備しています。

おすすめのメニューは、盛岡牛と短角牛のそれぞれのヒレステーキとサーロインステーキです。飲み物は、ペアレンビールもお薦めですが、ステーキにはチョコレートの香りがする外国ビールもお薦めとのこと。ランチは11時30分～14時30分。ディナーは17時30分～22時です。是非、ランチやお仕事帰りに立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

(編集委員 山尾 寿子、菊池 初子)



《岩手医科大学報編集委員》

小川 彰 菊池 初子
影山 雄太 江刺家和恵
松政 正俊 佐々木さき子
齋野 朝幸 米澤 裕司
小山 薫 佐々木忠司
藤本 康之 畠山 正充
佐藤 仁 大須賀志穂
成田 欣弥 武藤千恵子
山尾 寿子 野里三津子

編集後記

高松の池にはすでに白鳥たちが飛来し、今月号の表紙にあるような美しい里の紅葉も終わりを告げようとしています。四季折々の豊かな自然に恵まれた岩手県ですが、秋の短さにはいつも驚かされます。

今月号の特集では、今年度から始まった看護師の特定行為研修について取り上げています。看護師さんたちの知識、技能の向上や活躍の場の広がりによって、岩手県がより豊かな看護、豊かな医療に恵まれることを期待しています。

(編集委員 成田 欣弥)

岩手医科大学報 第470号

発行年月日 平成27年11月30日

発行者 学長 小川 彰

編集 岩手医科大学報編集委員会

事務局 企画部 企画調整課

盛岡市内丸19-1

TEL. 019-651-5111 (内線7023)

FAX. 019-624-1231

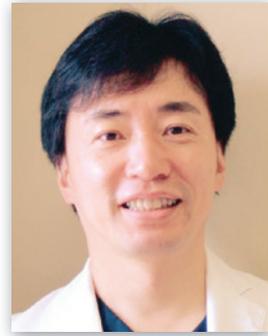
E-mail: kikaku@j.iwate-med.ac.jp

印刷 河北印刷株式会社

盛岡市本町通2-8-7

TEL. 019-623-4256

E-mail: office@kahoku-ipm.jp



呼吸器外科学講座 講師 出口 博之

肺がんにおける内視鏡手術 —より低侵襲の流れに—

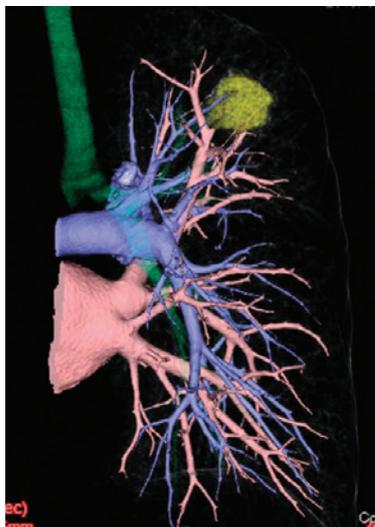
胸部における内視鏡手術は“VATS = video-assisted thoracic surgery”と称され、お耳にされた方も多いと思います。日本胸部外科学会では8 cmまでの創で行う手術としていますがVATSにはモニターだけをみて行うpure VATSとモニターと直視併用のhybrid VATSの2種類があります。

肺がんの治療はいわゆる早期であれば手術が第一です。切除範囲は肺がんが存在する肺葉切除とリンパの流れに沿った肺門・縦隔リンパ節の郭清が行われます。この術式は1970年代に片肺全摘術に替わって標準術式になった後、大きな変化はありません。しかし、ほかの診療科と同様、内視鏡手術の出現で、手術侵襲に大きな変化がみられました。

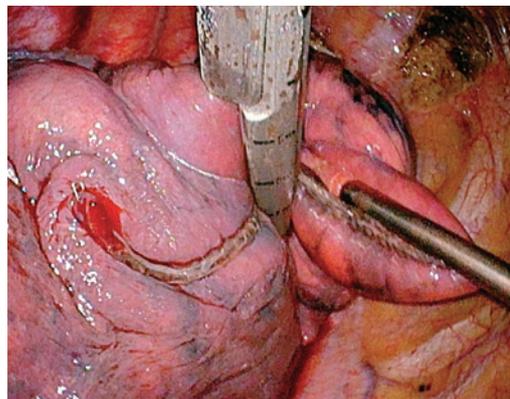
当科では肺がんの手術に対してpure VATSによる肺葉切除を採用しています。すなわち、1～2 cmの創部2か所と2～4 cmの創部1か所でモニターだけをみて手術を行い、切除した肺を取り出すとき必要に応じて創部を最小限切開する方法です。この利点は入院期間の短縮、出

血量の減少、合併症の減少、整容性などがあげられますが、何より術後創部痛の軽減にあります。胸部手術の創部痛は肋間を切開することで生じる肋間神経痛が主な原因ですので、ほかの部位の手術と比較して長引くことがあります。特に開胸手術では術後数ヶ月から数年痛みが続く場合も多いのですが、pure VATSではたまたま痛むことはあっても術後鎮痛薬が手放せない方はまずいません。

また、近年CT等の発達により早期の小型肺がんが多く発見されるようになり、肺葉切除に替わってより小さい構造の単位である肺区域切除を行う症例が増えました。肺区域切除で十分かを検証する臨床試験も行われており、近い将来小型肺がんは肺区域切除が標準術式になる可能性もあります。切除範囲が小さいため肺機能温存の利点がある一方、肺実質内に切り込んでいくため肺葉切除より難易度は上がります。当科では術前CTで肺血管3 Dviewを構築していただく等の準備により肺区域切除に対しても開胸することなくpure VATSを行っています。今後、肺機能の点からも手術手技の点からもより侵襲の小さい手術が増えていくと考えています。



肺血管の3D-CT



右肺S1領域の区域切除